

日本—米国 国際共同研究「非医療分野における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連研究」 2021年度 年次報告書	
研究課題名（和文）	検査戦略及び公衆衛生的介入が新型コロナウイルス感染症流行抑制に果たす影響の検証
研究課題名（英文）	The effect of testing strategies and public health measures to avert COVID-19 outbreaks
日本側研究代表者氏名	水本 憲治
所属・役職	京都大学 准教授
研究期間	2021年5月1日 ～ 2023年3月31日

1. 日本側の研究実施体制

氏名	所属機関・部局・役職	役割
水本 憲治	京都大学・大学院総合生存学館 /白眉センター・准教授	日本側代表研究者
大森 亮介	北海道大学・人獣共通感染症リ サーチセンター バイオイ ンフォマティクス部門・准教授	研究分担者
松山 亮太	酪農学園大学・獣医学群・助 教	研究分担者
永元 哲治	京都大学・大学院情報学研究科 システム科学専攻・研究員	研究協力者
高山 義浩	沖縄県立中部病院感染症内科 /地域ケア科副部長	研究協力者

2. 日本側研究チームの研究目標及び計画概要

本研究は、「新型コロナウイルス感染症流行に対し、適切な空港での検疫の在り方とはどのような体制か」に回答をよせることを目的としている。

3. 日本側研究チームの実施概要

本目的に回答を寄せるためには、まずは、既感染者を通常実施されるサーベイランス事業等において、どの程度捉えられているのか、次に、空港におけるモニタリング目的で実施される那覇空港での PCR 検査を含め、沖縄県全体で実施されてきた種々の大規模 PCR 検査事業についての評価が必要になる。

2021 年度は、これらの研究を推進し、論文投稿中・準備を進めた他（[1][2]）、当該研究推進に必要な関連データの収集を進めた。

[1] Takayama Y, Mizumoto K, et al. Implementation of SARS-CoV2 Monitoring and Screening test using RT-PCR in Okinawa prefecture, Japan, 2021. Under review.

[2] Mizumoto K, et al. SARS-CoV-2 IgG seroprevalence in the Okinawa Main Island and remote islands in Okinawa, Japan, 2020-2021. in preparation.